



認知症って…
全部忘れる？
何もできなくなる？
高齢者の病気？
恥ずかしいこと？

認知症について 考えてみませんか

厚生労働省の推計によれば、高齢化の進行とともに認知症の人の数は年々増加し、令和7年には、その割合が、65歳以上の高齢者の5人に1人まで達すると見込まれています。今や認知症は特別なものではなく、誰もが発症したり、家族として関わったりする可能性のあるものとなっています。認知症になれば何もできなくなるといった誤解を持つ人もいますが、周りの支えと理解があれば、住み慣れた地域で自分らしく暮らすこともできます。誰にとっても身近になっている認知症について、改めて考えてみませんか。

みんなで 支える

認知症初期集中支援チーム

福祉職、医療職、専門の医師による「認知症初期集中支援チーム」が、訪問などによって、認知症が疑われる人やその家族に早期に集中的に関わり、必要な医療・介護サービスなどにつなげる支援をしています。（北・中・南地域包括支援センター*に配置）

*地域の高齢者の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防のための必要な援助をする機関

本人さん、家族さんと二人三脚でより良い環境で生活できる方法を考えます！



南地域包括支援センター
中尾由佳里さん

南地域包括支援センター
星野今日子さん

三原クリニック
三原貴照先生

松尾医院
松尾 秀一先生

認知症初期集中支援チーム(南地域)の皆さん

教えて! Dr.

知っているようで知らない認知症

高齢者の病気?

A. 加齢と密接な関係がありますが、若くして発症する人もいます。65歳までに発症した場合を、「若年性認知症」と言います。

何もできなくなるの?

A. 初期であれば、支障がでるのは日常生活を送る上での行為の一部です。早期受診・早期診断が重要です。

物忘れとは何が違うの?

A. 生活に支障が出るようになった場合、「認知症」の可能性が高いです。

周りは何ができる?

A. 本人にとって身近な人が、声掛けをするなど少し気にして見守ること、そして、相談できる窓口を持っておくことです。

ひとりで悩まないで

■「あれ?」と思ったときが大事

家族などの行動に「あれ?」と思うことがあっても、なかなか受診まで至りません。本人の不安感や家族の抵抗感は少なからずあるものです。私たちは、そういった本人や家族の気持ちを減らすようなアプローチをしなければいけないと思っています。

■本人の背中を押す役割

かかりつけ医がいる場合は、普段から本人と医師の信頼関係があることが多く、医師からの「専門医にかかってみたら」という提案が、本人の受診への一歩につながる場合があります。また、認知症初期集中支援チームが、自宅を訪問し、本人や家族に寄り添いながら受診前支援をしています。

■診断後のケア

患者の中には、認知症のことを「命に影響する重大な病気」と誤解している人もいます。家族についても、認知症の知識がなく、「これからどうすれば」と漠然とした不安を持つことがほとんどです。そんなとき紹介するのが、「認知症カフェ」です。認知症の人同士や、同じ境遇の人と出会うことができるかもしれません。このように、診断後の不安感を払拭するための支援にも力を入れています。

三原貴照先生

三原クリニック院長
三泗区域連携型認知症疾患医療センター長
認知症専門医



ひとりで悩まないで

つながりの場

認知症カフェ

認知症の人や家族、地域住民、専門職など誰もが気軽に集い、交流できる場です。同じ立場で語り合い、悩みを共有するなどつながり合ってみませんか。詳しくは、市ホームページ(HP ID)1495174760244をご覧ください。

レイの会 (若年性認知症者の会)

「私たちは手を挙げています。私たちの手にあなたの手を乗せてください。一緒に歩みましょう」という意味を込めて平成29年に設立。三重県内の若年性認知症当事者が集まり、若年性認知症カフェやさまざまなイベントの企画・運営・参加をしながら活動しています。

TEL 同会事務局 デイハウス沙羅 (382-8490)

認知症の人と家族の会

家族が励まし合って、助け合い「認知症があっても安心して暮らせる社会」を目指す会です。全国47都道府県に支部があり、本市では、家族のつどい(偶数月の金曜日)と若年性認知症のつどい(年数回の日曜日)を開催しています。

TEL 三重県認知症コールセンター (三重県の委託事業) [059-235-4165(水曜日を除く 平日10:00~18:00)]

認知症地域支援推進員

認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく前向きに暮らし続けられるよう、医療や介護の関係機関、地域の連携を強化し、認知症の人や家族を地域で支える仕組みづくりを進めています(各地域包括支援センターと市に1人ずつ配置)。



▲推進員による認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座

認知症の正しい知識や、認知症の人への接し方などを学び、自分のできる範囲で認知症の人と家族を手助けする「認知症サポーター」。養成講座を受講した人にオレンジリングを配布します。

開催日程などは、市ホームページ(HP ID)1001000003685をご覧ください。



●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 高齢福祉課 ☎354-8170 FAX354-8280